

介護保険事業者説明会(集団指導)

施設における感染症対策
及び
感染症神戸モデル
-早期探知地域連携システム-
について

神戸市保健所

2024.3.8



本日の内容

1. 感染対策を行うための3つのポイント
 - (1) 感染症について知る
 - (2) 必要な感染対策で感染を防止する
 - (3) 早期発見・早期対応ができる体制をつくる
2. 感染症神戸モデル-早期探知地域連携システム-について
3. 神戸市感染症統合情報システムについて
4. 本日のまとめ



1. 感染対策を行うための3つのポイント

(1) 感染症について知る

- 感染のしくみ(感染成立の3要因)や感染源の特性を知り、特性を踏まえた感染対策を選択する

(2) 必要な感染対策で感染を防止する

- 平常時から病原体(感染源)を持ち込まない・持ち出さない・拡げないことを意識し感染を防止する
- 感染対策に過不足がないか見直す

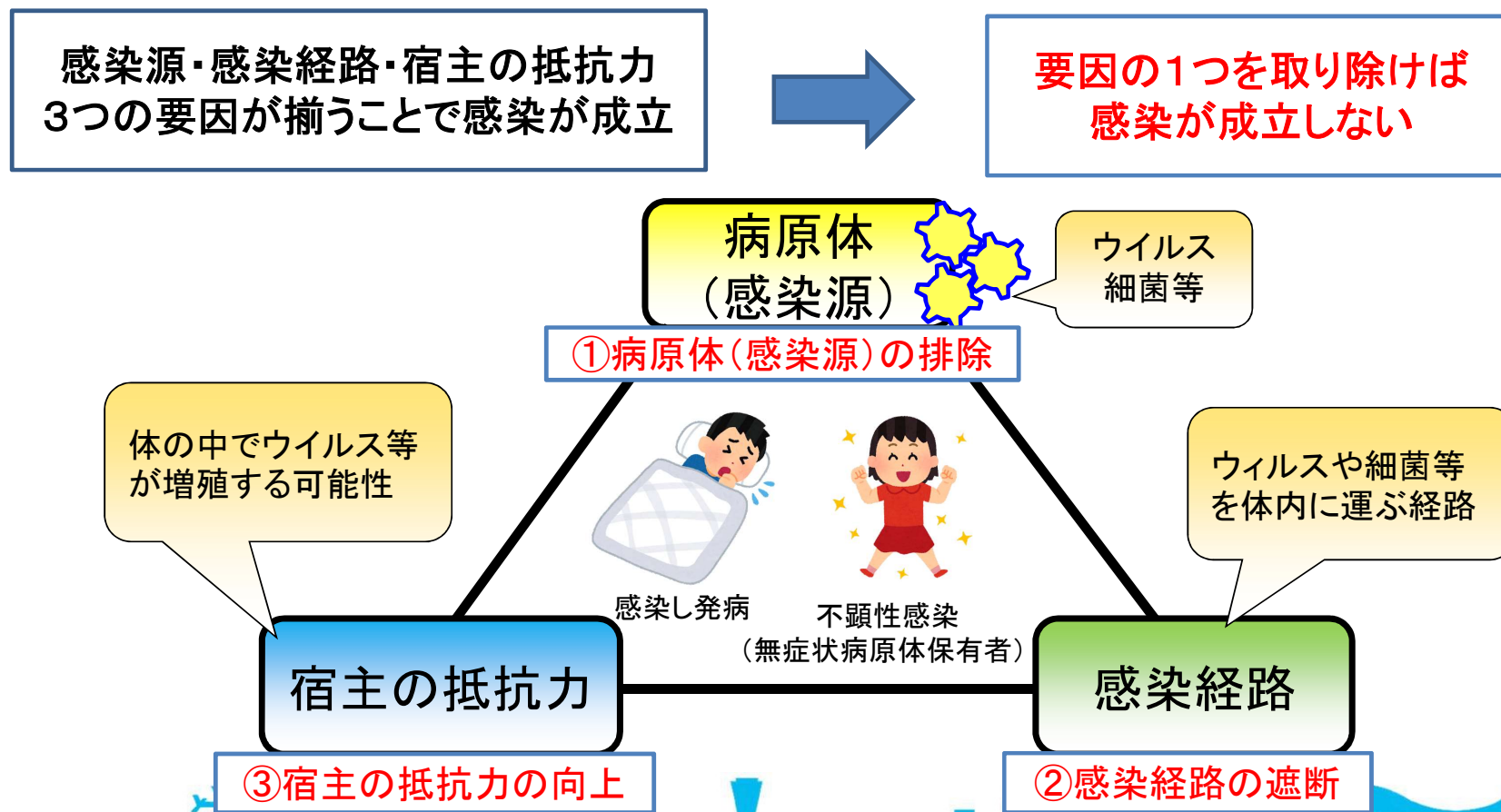
(3) 早期発見・早期対応ができる体制をつくる

- 早期発見と早期対応により感染拡大(健康被害)を最小限におさえることができるため、事前に感染対策マニュアルや業務継続計画(BCP)を作成する
- 施設内で情報共有する



1-(1) 感染症について知る

感染のしくみ(感染成立の3要因)について



1-(1)感染症について知る

①病原体(感染源)の排除

感染症の原因となる可能性のある病原体(感染源)は、以下のようなところに人体の場合は存在している。

- ①血液等の体液(汗を除く)
- ②目・鼻・口腔内等の粘膜
- ③正常でない皮膚
- ④上記に触れた手指 等

病原体の特性を
把握する



①、②、③は、必ず手袋を着用して取り扱います。また、手袋を外した後は、手指衛生(手洗いやアルコール消毒等)が必要。



1- (2) 必要な感染対策で感染を防止する

標準予防策(スタンダード・プリコーション)

感染症の有無に関わらず、全ての人に対して、血液、体液、汗を除く分泌物、排泄物、損傷した皮膚、粘膜等の湿性生体物質は、感染の可能性があるとみなして対応する方法のこと

介護分野では、特に嘔吐物・排泄物の処理や、発疹や傷のある皮膚に触れる際に注意が必要

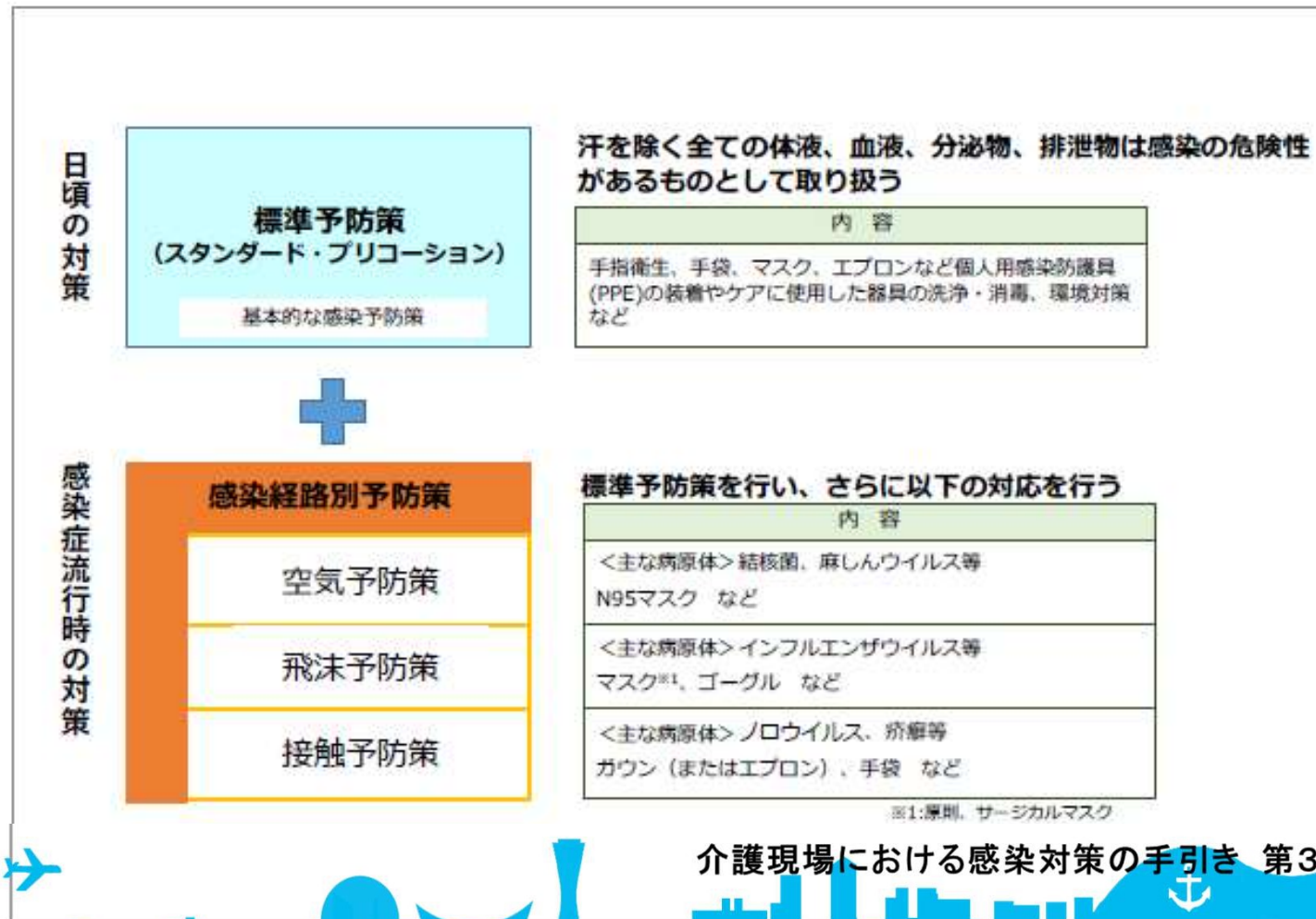
〈3つのポイント〉

1. 感染の有無にかかわらず、血液などの体液(汗を除く)は、感染性があるものとして必ず手袋を着用して触れる
2. 目・鼻・口腔内等の粘膜は必ず手袋を着用して触れる
3. 正常でない皮膚には必ず手袋を着用して触れる



1-(2) 必要な感染対策で感染を防止する

日頃と感染症流行時の予防策



1-(2) 必要な感染対策で感染を防止する(新型コロナウイルス感染症)

② 感染経路の遮断

病原体を排除する

換気



窓開け換気は可能な範囲で2方向

エアロゾルは
3時間まで
ウイルスが残存

正しい消毒

- ・消毒が置かれているだけ
- ・アルコール濃度が不足
- ・「除菌」「継続的にウイルス減少する」
などがうたい文句の消毒薬
- ・空間除菌、次亜塩素酸水に注意！



- ・消毒用エタノール(アルコール)70%以上
- ・次亜塩素酸ナトリウム液(0.05%)



※スプレータイプはウイルスを飛散させます

病原体を持ち込まない



- ・出勤前には
熱を測る
- ・体調を確認する



- ・症状がある場合
は職場に相談し、
早めに休む
(組織を守ることもつながります)

健康チェック表


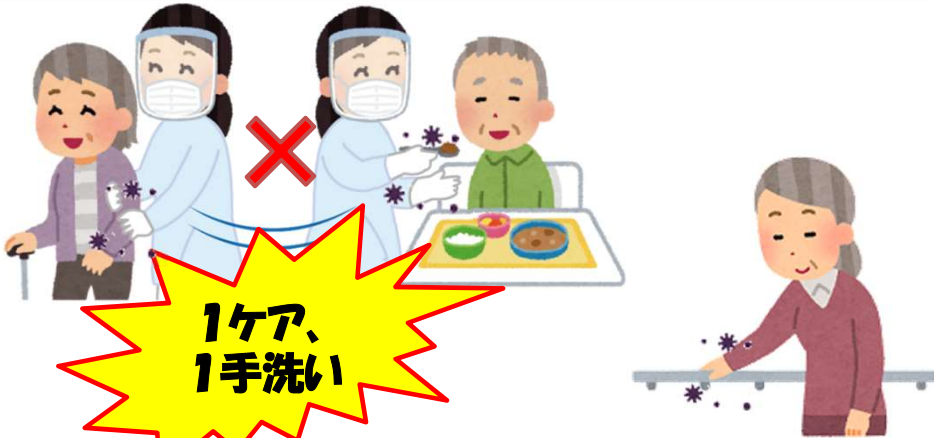
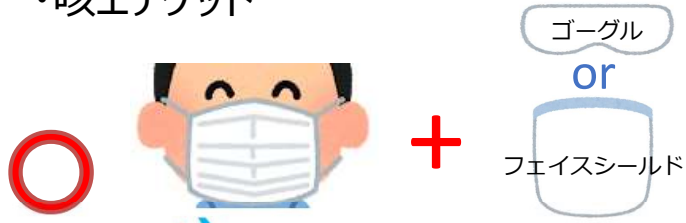

氏名	日付	体温	備考
A	2/1	℃	
B	/	℃	
C	/	℃	
D	/	℃	

健康チェック表
に、記録を残す

(体調不良者に気づくことも重要)

1-(2) 必要な感染対策で感染を防止する(新型コロナウイルス感染症)

② 感染経路の遮断

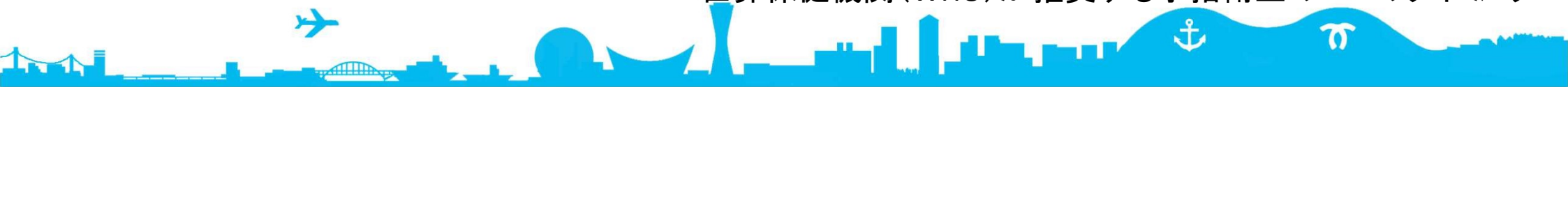
<u>飛沫感染・エアロゾル感染</u>	<u>接触感染</u>
	
<ul style="list-style-type: none">目・鼻・口を守って飛沫を浴びない効果的な換気 ・3密の回避咳エチケット  <p>ゴーグル or フェイスシールド</p>	<ul style="list-style-type: none">まめな手洗い・手指消毒、環境消毒ケア時は、必要時手袋・エプロン等を着用 

1-(2) 必要な感染対策で感染を防止する

② 感染経路の遮断



世界保健機関(WHO)が推奨する手指衛生の5つのタイミング



1-(2) 必要な感染対策で感染を防止する(新型コロナウイルス感染症)

感染対策の項目	効果的かつ負担の少ない感染対策
基本的感染対策	・接触・飛沫-エアロゾル感染対策+空間の分離が基本。接触感染対策は最小限かつ効果的に
接触感染対策	・過剰な環境消毒の中止 (頻回の環境消毒、抗菌コート、エレベーターのボタンカバーなど)
PPEの使用	・直接接触のリスクが少ない場合(問診、診察、検温など)にはガウンは不要 (移乗介助、身体リハ、むせこみ食事介助、おむつ交換などの場合はガウン着用を考慮)
陽性者の管理場所	・陽性者同士の大部屋管理も可。 ・コロナ専用病棟ではない通常の病棟でも対応可(患者間距離、換気、物理的遮断に配慮)
ゾーン設置による対応	インフルエンザ流行時と同様、部屋単位で部屋内(患者ゾーン:レッド)、ドアの周囲(中間ゾーン:イエロー)などとして対応(病棟全体のゾーニングは基本的には不要)
面会希望への対応	・高齢者施設:マスク着用、短時間・少人数、一定の距離をとって面会可 ・面会時の基本的な感染対策(体調確認・マスク・手指消毒等)に加えて、面会場所の工夫(換気・距離・大部屋は避ける)や人数、時間制限などにより院内感染のリスクを低減

※PPE:個人用防護具

令和4年6月20日厚生労働省新型コロナウイルス感染症対策推進本部事務連絡
別添資料 令和4年6月8日新型コロナウイルス感染症対策アドバイザーボード資料
一部表現を簡略化、介護場面に該当しない箇所を削除

1- (2) 必要な感染対策で感染を防止する(新型コロナウイルス感染症)

	無症状者(感染者を除く)	有症状者(感染者を含む)
標準予防策	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者に触れる前後の手指衛生の徹底。 ・利用者の体液や排泄物に触れたときは、直後に手指衛生を行う。 ・予測される汚染度に応じて、適切な防護具をあらかじめ着用する。 	
接触感染対策	<ul style="list-style-type: none"> ・体液や排泄物への汚染が想定されない限り、エプロンやガウンを着用する必要はない。 ・環境表面を定期的に消毒する必要はない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・身体密着が想定される場合には、接触度に応じてエプロンやガウンを着用する。 ・有症状者が触れた環境で、他の人が触れる可能性があるときは速やかに消毒する。
飛沫感染対策	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者、医療者、介護者の双方が、屋内で対面するときはサージカルマスクを着用する。 	
	<ul style="list-style-type: none"> ・フェイスシールド等で眼を保護する必要はない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・有症状者がマスクを着用していない場合(1)には、フェイスシールド等で眼を保護する。
エアロゾル対策	<ul style="list-style-type: none"> ・室内換気を徹底する(十分な機械換気。または、窓やドアから風を入れる) 	
	<ul style="list-style-type: none"> ・日常的にN95マスクを着用する必要はない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・エアロゾル排出リスクが高い場合(2)には、医療者や介護者はN95マスクを着用する。
空間の分離(ゾーニング)	<ul style="list-style-type: none"> ・無症状者同士の接触を制限する必要はない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・有症状者と他の利用者や利用者が空間を共有することのないよう、個室での療養を原則とする。トイレも専用とすることが望ましい(3)。 ・専用病棟(病棟全体のゾーニング)は基本的には不要。

(1) 口腔内の診察、口腔ケア、食事介助、入浴支援など

(2) 咳嗽がある。喀痰吸引や口腔ケアを実施するなど。

(3) トイレが病室に無い場合は、病棟トイレの一部を患者用に使用することも可。

1-(2) 必要な感染対策で感染を防止する(新型コロナウイルス感染症)

③ 宿主の抵抗力の向上

感染前

免疫をつける

【予防接種の実施】

- 令和6年4月1日以降は、65歳以上の方および60~64歳で対象となる方には、新型コロナウイルス感染症の重症化予防の目的として、秋冬に自治体による定期接種が行われ、費用は原則有料となる。



治療・重症化予防

感染時



【治療薬の導入】

- 抗ウイルス薬
(経口薬のラゲブリオ、パキロビッド、ゾコーバ、点滴薬のベクルリー)
※事前に施設医等が処方しているか確認しておく
※医療体制の確認(土日、夜間の医師等への相談体制)



1-(2) 必要な感染対策で感染を防止する

感染症対策の動画を活用しよう



神戸市ホームページ
神戸モデル 早期探知地域連携システム で検索



ホーム > 健康・医療・福祉 > 健康・医療 > 感染症・予防接種 > 感染症の予防 > 神戸モデル-早期探知地域連携システム-

神戸市感染症対策動画YouTube公開中

★[吐物処理手順動画リーフレット \(QRコード\) \(PDF: 508KB\)](#)

• [【10分でわかる吐物処理】施設向け感染性胃腸炎対策動画](#)

★[神戸市感染症対策動画ちらし \(QRコード\) \(PDF: 664KB\)](#)

• [みんなで学ぼう！施設や事業所の感染症対策動画](#)

• [新型コロナウイルス感染症拡大防止チェックシートの解説動画](#)

施設内研修や
個人の学習に
活用しましょう



1- (3) 早期発見・早期対応の体制をつくる

感染拡大防止のために

- ① 施設内のマニュアル作成、定期的なマニュアルの見直し
感染拡大防止には初動が重要であり、症状出現時に早期対応できるように、必要な感染対策や連絡先等をマニュアルにまとめ、平常時から施設内で情報共有しておく
- ② 医療体制の確認および施設医との連携
平常時から施設医と連携し、休日や夜間の連絡体制等について相談をしておく
- ③ 「感染症神戸モデル-早期探知地域連携システム-」
「神戸市感染症統合情報システム」の活用



2. 感染症神戸モデル-早期探知地域連携システム-

2009年の新型インフルエンザ発生後の対応を検証し、以下の提言あり

- ①感染症の早期発見をする仕組みが必要
- ②感染症の早期探知、感染拡大防止には、区と地域のネットワークが必要
- ③地域組織の自助力、共助力の向上が必要

保健センターと地域（学校園・社会福祉施設・医療機関等）が連携して、ネットワークを築き、感染症発生の早期探知と迅速な対応により、感染症の拡大を防止し、地域全体で感染症に関する対応力の向上に努める

地域連携（平常時）

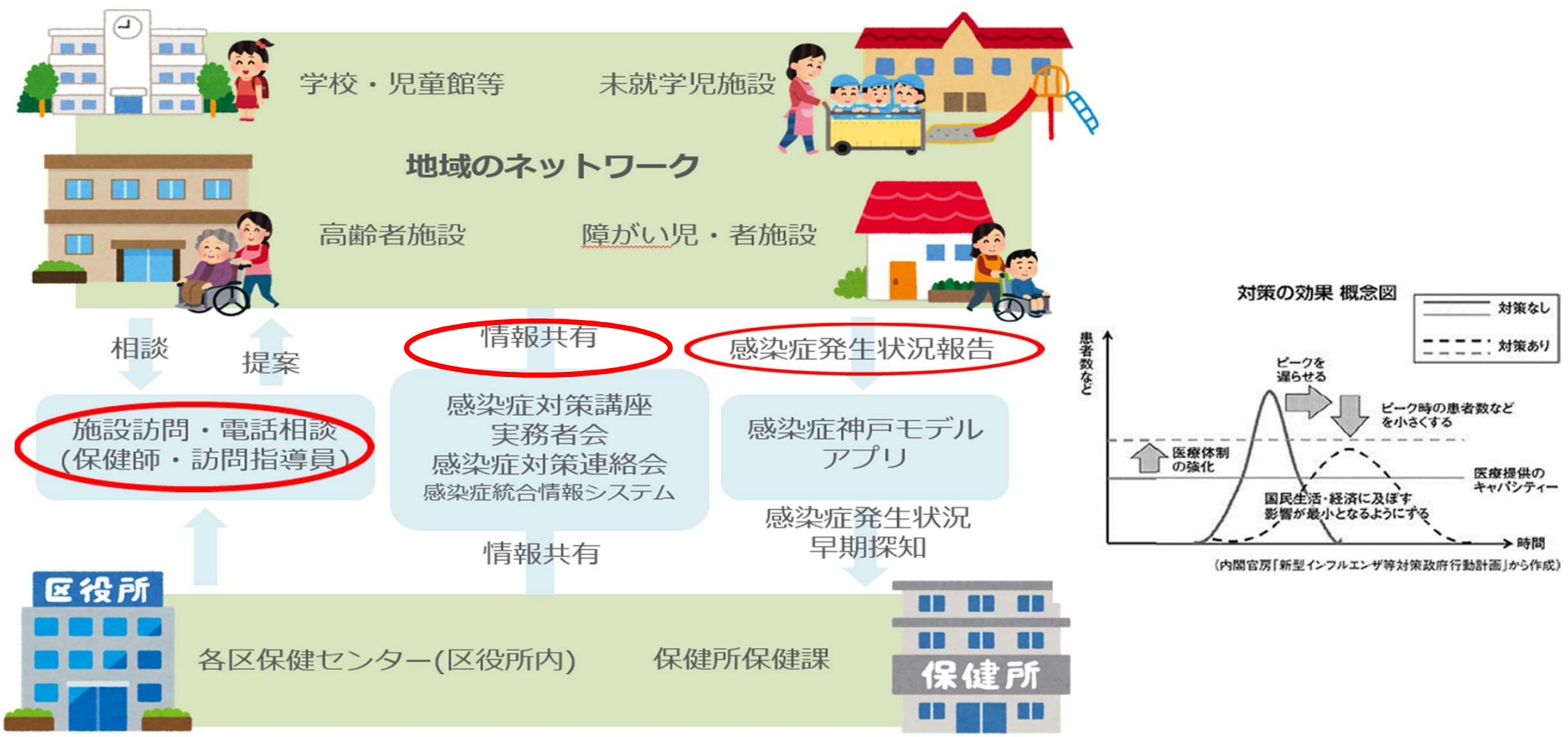
- ・保健センター保健師や感染症訪問指導員が地域施設へ巡回訪問
- ・感染症対策基礎講座や対策講座、実習
- ・区感染症対策連絡会

感染症の早期探知と早期対応（発生時）

- ・施設で、発熱や下痢など感染症の疑いのある職員・利用者が1週間以内に複数発生した場合は、保健センターへ感染症発生状況連絡アプリで報告
- ・保健センター保健師が訪問や電話などで対応



2. 感染症神戸モデル-早期探知地域連携システム-



区と地域(学校・園・施設等)が連携して感染症の早期対策を目指す

2. 感染症神戸モデル-早期探知地域連携システム-

感染症神戸モデルアプリ

神戸市ホームページ
神戸モデル 早期探知地域連携システム で検索



感染症(インフルエンザ含む)・食中毒疑い発生状況連絡

感染症または感染症を疑う事例の発生があれば、できるだけ早期に神戸モデルアプリで連絡をお願いします。

感染症発生状況連絡の報告方法が変更になりました。

- [感染症神戸モデルアプリ導入のお願い \(PDF: 574KB\)](#)
- [神戸モデル 施設入力用マニュアル \(PDF: 2,284KB\)](#)



2. 感染症神戸モデル-早期探知地域連携システム-

感染症神戸モデルアプリの入力について

★全てのアプリへアクセス可能

感染症神戸モデルに関する全てのアプリへアクセスできるページを作成しました。

今後は下記のURLもしくは、右の2次元コードよりアプリへ入力をお願いいたします。

<URL>

<https://a4f55249.form.kintoneapp.com/public/ef5fcfd4ea1268b339ad16ffa66bdb4de0e7ff68e5294f652191f75fd14b8e7f>



利用者や職員の陽性が判明したら神戸モデルに入力を



2. 感染症神戸モデル-早期探知地域連携システム-

研修など情報発信

地域施設の職員を対象とした研修

- 「**感染症対策基礎講座**」毎年1回開催
新たな施設職員を対象に感染症の基礎知識について講義を実施
- 「**感染症実務者連絡会**」毎年各区保健センターで開催
実技研修や、施設職員の情報共有の場を設けた連絡会

情報発信

- 感染症統合情報システム(市内の感染症情報を一つにまとめたポータルサイト)
- **動画の配信(令和4年度約9,000回再生)**
「みんなで学ぼう!施設や事業所の感染対策動画」「10分で分かる吐物処理」等。
- 感染症神戸モデルメール
感染症神戸モデルアプリに登録している**約3,600施設に感染症の最新情報と感染対策のリーフレット**「リアルタイム感染症今どき&耳寄り情報」を送付している。

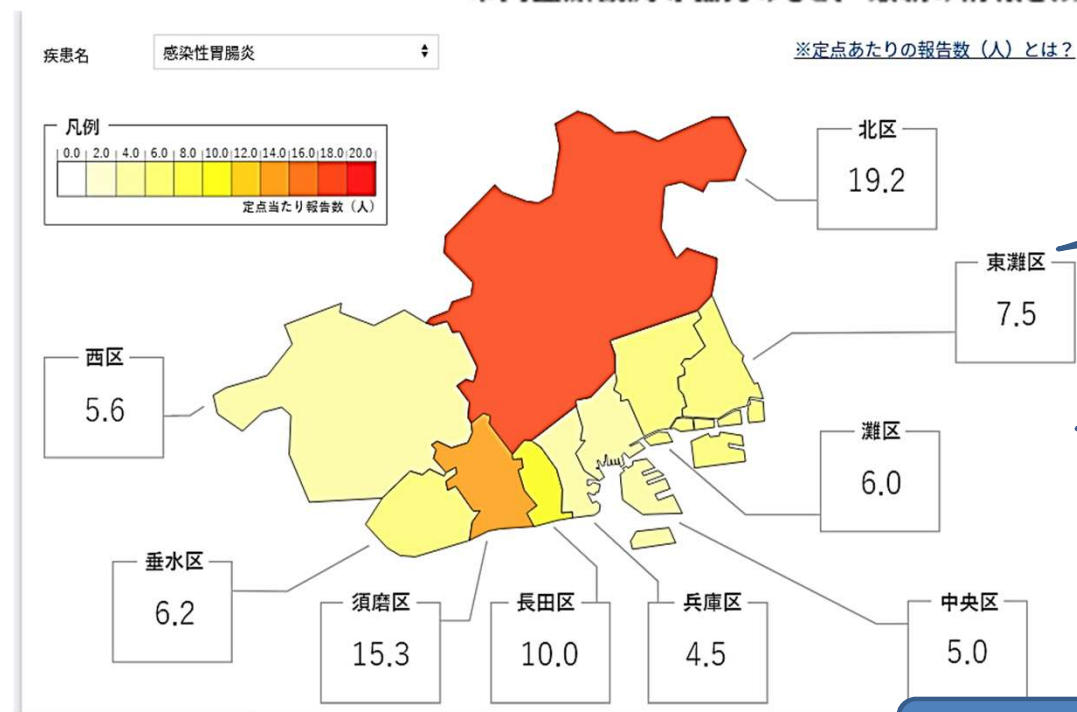


3. 神戸市感染症統合情報システム



感染症の流行をいち早く届ける。

市内医療機関等協力のもと、最新の情報をお知らせする神戸モデル感染症情報発信ポータルサイトです。



感染症発生連絡
アプリの情報が
反映されます

疾患の発生状況が
区ごとに表示されます



「神戸市感染症統合情報システム」で検索



3. 神戸市感染症統合情報システム



💡 感染症に関する資料

一般の方向け

医療機関向け

施設向け

参考資料

[感染症神戸モデル アプリマニュアル](#) PDF

[新型コロナウイルス：「施設内療養の体制に関する調査」案内文](#) PDF

[令和5年度 感染症対策基礎講座（アーカイブ配信）](#)

[みんなで学ぼう！施設や事業所の感染症対策動画](#)

[新型コロナウイルス：（兵庫県通知文）事務連絡「高齢者施設等における医療支援体制に関する調査について」](#) PDF

[令和5年度 感染症対策基礎講座 資料①](#) PDF

[令和5年度 感染症対策基礎講座 資料②](#) PDF



神戸市感染症発生動向調査 週報

神戸市感染症発生動向調査 週報

神戸市感染症発生動向調査 週報 で検索



神戸市感染症発生動向調査週報 ... 第04週 (令和6年1月22日~令和6年1月28日) 2024/02
 インフルエンザ・新型コロナウイルス (目標定点数:48/報告定点数:48 ... 東灘区:6 灘区:3 中央区:3 兵庫区:3 北区:8 真田区:3 須磨区:6 垂水区:8 西区:8)

疾病名称	前週比	東灘	灘	中央	兵庫	北	真田	須磨	垂水	西	計	~5 ヶ月	~11 ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	~14 歳	~19 歳	~29 歳	~39 歳	~49 歳	~59 歳	~69 歳	79 歳	80歳 以上
インフルエンザ	↑	83	63	45	29	211	115	82	217	202	1047	3	5	17	22	42	59	67	68	91	103	90	282	80	26	45	27	7	7	6	0
新型コロナウイルス(COVID-19)	↑	12	22	20	14	116	50	29	80	90	433	4	11	10	12	7	12	12	25	14	17	19	86	30	28	29	45	28			

小児科 (目標定点数:31/報告定点数:31 ... 東灘区:4 灘区:2 中央区:2 兵庫区:2 北区:5 真田区:2 須磨区:4 垂水区:5 西区:5)

疾病名称	前週比	東灘	灘	中央	兵庫	北	真田	須磨	垂水	西	計	~5 ヶ月	~11 ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	~14 歳	~19 歳	20歳 以上
R Sウイルス感染症	↑	0	0	0	0	0	0	0	1	2	3	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
咽頭結核熱	→	5	2	0	2	3	4	2	3	4	25	0	2	3	3	6	2	3	2	0	1	1	0	0	2
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	↓	7	4	16	0	14	3	6	25	15	90	0	1	2	6	8	5	9	18	4	6	12	14	4	1
感染性胃腸炎	↑	17	8	36	31	95	14	28	78	28	335	2	11	62	42	34	35	28	26	22	16	9	19	3	26
水痘	↑	0	0	0	0	3	1	1	1	3	9	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	1	4	1	1
手足口病	↑	0	0	1	0	3	1	0	2	1	8	0	0	2	2	3	1	0	0	0	0	0	0	0	0
伝染性紅斑	↑	0	0	0	0	3	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	2	0	1	0	0	0	0	0
突発性発疹	→	1	0	0	0	1	1	4	2	1	10	0	0	7	2	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
ヘルパンギーナ	↓	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
流行性耳下腺炎	→	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

眼科 (目標定点数:10/報告定点数:10 ... 東灘区:1 灘区:1 中央区:1 兵庫区:1 北区:1 真田区:1 須磨区:1 垂水区:1 西区:2)

疾病名称	前週比	東灘	灘	中央	兵庫	北	真田	須磨	垂水	西	計	~5 ヶ月	~11 ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	~14 歳	~19 歳	~29 歳	~39 歳	~49 歳	~59 歳	~69 歳	70歳 以上	
急性出血性結膜炎	↑	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
流行性角結膜炎	↑	1	0	1	1	0	0	0	2	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	0	0	0	2	

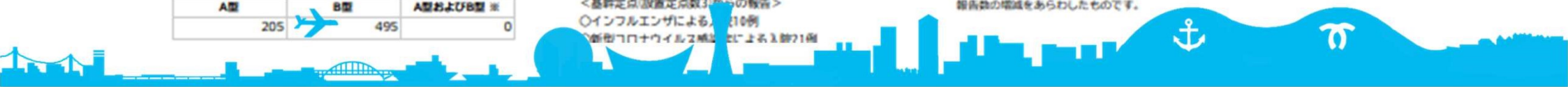
インフルエンザ定点医療機関から報告された迅速キット陽性情報(※A型およびB型とは、亜感染、混合感染患者の数)

A型	B型	A型およびB型 ※
205	495	0

<基幹定点/設置定点数3ヶ所の報告>
 ○インフルエンザによる死亡10例
 ○新型コロナウイルス感染症による入館21例

※前週比とは定点あたりの報告数を比較し、今週の定点あたりの報告数の増減をあらわしたものです。

感染症発生動向調査週報は
 新型コロナウイルス感染症
 だけでなく、
 現在流行の感染症を把握



4. 本日のまとめ

個人(施設)が主体となり、感染対策を行うことが必要

個人(施設)で対策を行うためには、

1. 感染症について知り、特性を踏まえた感染対策を選択する
2. 地域での感染症の流行状況を把握し、流行状況に合わせた感染対策を行う
3. 平常時から意識して必要な感染対策を行うことで感染を防ぐ
4. 感染症が施設内で発生した場合の感染拡大防止のために、迅速に対応できるように事前に体制づくりをしておく

